

エビデンス・ベースト・ポリシーに関する政府の基本的な考え方  
(平成 26 年 5 月 16 日第 9 回「国・行政のあり方に関する懇談会」資料 1)(抄)

# エビデンス・ベースト・ポリシーに関する政府の基本的な考え方

## 科学技術基本計画について（平成23年8月19日閣議決定）（抄）

### V. 社会とともに創り進める政策の展開

#### 3. 実効性のある科学技術イノベーション政策の推進

##### (1) 政策の企画立案及び推進機能の強化

国は、「科学技術イノベーション政策のための科学」を推進し、客観的根拠（エビデンス）に基づく政策の企画立案、その評価及び検証結果の政策への反映を進めるとともに、政策の前提条件を評価し、それを政策の企画立案等に反映するプロセスを確立する。その際、自然科学の研究者はもとより、広く人文社会科学の研究者の参画を得て、これらの取組を通じ、政策形成に携わる人材の養成を進める。

## 経済財政運営と改革の基本方針～脱デフレ・経済再生～（平成25年6月14日閣議決定）（抄）

### 4. 実効性あるPDCAの実行

経済財政諮問会議において、経済再生、財政健全化に資する重要な対象分野について、実行取組状況等を踏まえながら適時検討を行い、PDCAの実効性向上を図る。その後も、経済財政諮問会議と総務省・各府省の政策評価に関する連携を強化することにより、重点課題に係る政策について、PDCAの徹底（総合的な観点からの評価を重視）、エビデンスに基づく政策評価を確立する。あわせて、こうした評価に必要な統計整備を各政策実施府省において進める。

## 公的統計の整備に関する基本的な計画について（平成26年3月25日閣議決定）（抄）

### 第1 施策展開に当たっての基本的な視点及び方針

公的統計は、「証拠に基づく政策立案」（evidence-based policy making）を推進し、学術研究や産業創造に積極的な貢献を果たすことが求められている。

# エビデンスに基づく政策立案を妨げるもの（イメージ）

該当データはあるが、分析するだけの能力を持ち合わせていない。

どこにどんなデータがあるかわからない。

これまでも長年の経験とスキルでやってきたので問題ない（はず）。

国民が望んでいる（が、科学的な根拠はあまりない）。

上司のアイデア（≡思いつき？）を無駄にするわけにはいかない。

今やめると、ここまでの投資が無駄（政策の失敗＝サックコストの錯覚？）になる。

該当データはあるが、目的外利用を禁止されている。

省内調整や他府省調整が必要だが、時間的に制約がある。

新たな施策を打ち出すだけの勇気がない（←打ち出して失敗すれば責任を問われる）。